

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## 施設果菜類でのコナジラミ類の防除対策の徹底について

キュウリ、トマトなどの施設果菜類において、コナジラミ類（写真1）の発生が平年より多くなっています。また、本虫が媒介する各種ウイルス病（写真2）の発生もみられています。

については、下記事項を参考に対策を徹底するよう生産者への指導をお願いします。



写真1 タバココナジラミ

### 記

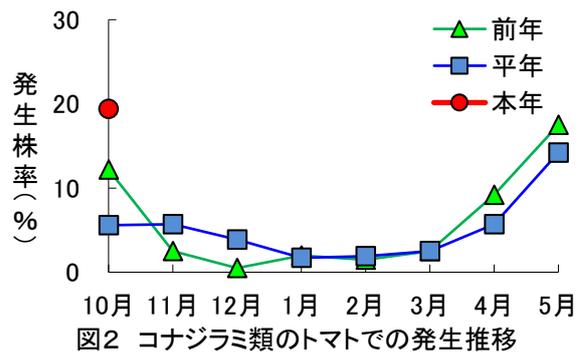
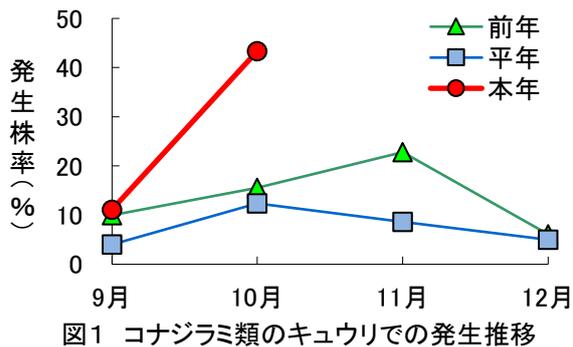
#### 1. 発生状況

##### 1) キュウリ

10月19日～20日に実施した定期調査におけるコナジラミ類の発生株率は、43.3%（平年12.4%、前年15.6%）であり、平年より高く、前回（9月16日～22日）の調査時に比べ急増している（図1）。

##### 2) トマト

10月18～19日に実施した定期調査におけるコナジラミ類の発生株率は、19.4%（平年5.6%、前年12.2%）であり、平年より高い（図2）。



#### 2. 防除対策

- 1) 施設開口部に防虫ネット（0.4 mm以下程度）を設置し、施設内への侵入防止に努める。ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無い点検し、必要に応じて補修する。
- 2) 多発してからでは防除が困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- 3) 薬剤の選定にあたっては、表1を参考にする。ただし、その効果は圃場によって異なるので、薬剤散布した後は、必ず効果を確認する。
- 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤の連用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。

- 5) 施設周辺部および内部の雑草は、コナジラミ類の生息・増殖場所となるため、除草する。
- 6) ウイルス病と疑わしい株は、見つけ次第早急に除去処分する。
- 7) 改植時には、次作への伝染源を断つため、薬剤を用いた残渣処理および施設密閉処理を行い、アザミウマ類も含めたウイルス媒介虫の死滅およびウイルス病罹病株の枯死を図る。



写真2 コナジラミ類により媒介される主なウイルス病

表1 タバココナジラミ成虫に対する殺虫効果(佐賀県農業試験研究センター、2020年)<sup>1)</sup>

供試薬剤	IRAC コード	供試 濃度 <sup>2)</sup>	処理5日後の補正死虫率 <sup>3)</sup>								
			トマト(ミニトマトを含む)						キュウリ		ナス
			A圃場	B圃場	C圃場	D圃場	E圃場	F圃場	G圃場	H圃場	I圃場
ベストガード水溶剤	4A	2,000	70.1	80.9	<b>97.5</b>	83.0	48.5	<b>100</b>	<b>93.5</b>	<b>97.4</b>	<b>93.1</b>
モスピラン顆粒水溶剤	4A	2,000	8.7	22.7	23.3	15.2	40.1	7.9	26.7	43.6	36.7
トランスフォームフロアブル	4C	2,000	82.6	64.1	53.1	68.2	82.1	-	60.3	58.0	84.1
ディアナSC	5	2,500	83.2	87.2	89.6	<b>97.6</b>	89.6	<b>100</b>	<b>100</b>	85.0	<b>93.2</b>
アグリメック	6	500	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
アニキ乳剤	6	1,000	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
アフーム乳剤	6	2,000	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
コルト顆粒水和剤	9B	4,000	<b>95.3</b>	<b>90.5</b>	43.1	43.0	86.5	89.5	<b>97.9</b>	81.6	52.1
ベネビアOD	28	2,000	82.2	<b>97.6</b>	89.2	72.1	63.9	<b>100</b>	78.3	<b>100</b>	<b>97.7</b>
ヨーバルフロアブル	28	2,500	0	24.4	4.7	0	14.8	0	9.1	12.3	12.2
グレーシア乳剤	30	2,000	<b>92.9</b>	83.7	<b>96.9</b>	<b>95.2</b>	<b>100</b>	<b>92.5</b>	<b>97.9</b>	<b>95.0</b>	<b>97.5</b>

1) 佐賀県研究成果情報より一部改変。県内の施設果菜類(トマト、キュウリ、ナス)圃場から採取したタバココナジラミ成虫を葉片浸漬法により薬剤感受性検定を実施。

2) 検定に供試した濃度であり、**各品目における登録の有無や使用濃度は必ず最新の情報を確認する。**

3) 補正死虫率=(水処理区の生存率-薬剤処理区の生存率)/水処理区の生存率×100。補正死虫率が高いものほど効果が高いことを示し、90以上のものを太字で示した。"- "は検定未実施を示す。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail [nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp](mailto:nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp)

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

